

「トイレでしたい」 ～安心する環境づくり～

介護老人福祉施設 巴の園
塩澤育未・櫻井雅之

Aさん 82歳 介護度3
生活自立度 A2 認知症生活自立度 IV
既往歴…子宮筋腫 高血圧 糖尿病 白内障 片頭痛
アルツハイマー型認知症 (75歳頃)

- 【性格】
- 他者の行動が気になる
 - 穏やかな時と怒る時の差がある
 - 話が好き
 - 身だしなみを気にする
 - 羞恥心が強い



…生活歴と入所までの経緯…

清水区三保出身 26歳に結婚し2人の子供をもうける。
70歳頃より物忘れが見られ受診するも年相応の物忘れと診断される。
75歳家族の事がわからなくなり家の中で放尿・排便するようになり病院受診する。
アルツハイマー型認知症と診断される。
ショートステイ・デイサービスを利用していましたが、在宅での放尿排便等の認知症症状が家族への精神的負担が強くなりH27年10月に当施設に入所になった。
ショート利用時より日中はトイレ誘導すれば出来る。
夜間はトイレがわからず、ゴミ箱やタンスの中に排泄してしまっていることがある。
夕方から帰宅願望見られるが入眠してしまえば落ち着かれて入眠している。

認知症症状によって家族の顔も分からなくなってしまい、会話が続かなくなる等もあった。家の中の放尿・排便が昼夜ほぼ毎日あるから1人にはしてあげない。



Aさんのケアのアセスメント課題

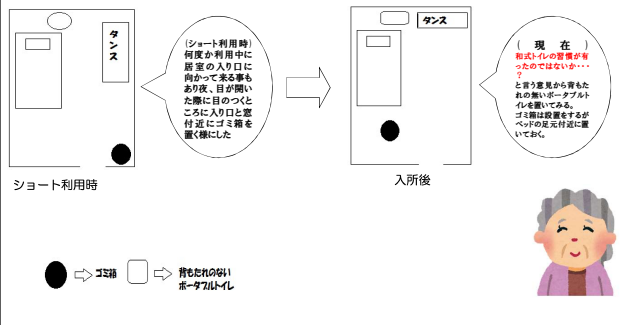
夜間もポータブルトイレ又はトイレでの排泄をさせてあげたい

理由として

ショートステイ利用時でも家族が放尿排便等を気にされていた。ポータブルトイレ置いてみるが上手くトイレと認識してくれなかった。



Aさんへの取り組み



Aさんへの成果

入所後1週間ぐらいはゴミ箱、ポータブルトイレ以外にしてしまう事見られていたが、週目以降よりポータブルトイレ使用が出来てきており、産る際にこぼしてしまう程度に減った。

ショートステイ、デイサービス利用のために宅の施設との行き来をしていたこともあり環境の変化に戸惑ってしまっていたのではないかと…?

入所し環境が一定になり落ち着く事ができたのではないかと考えられる。



【家族の思い】
排泄の事が心配も減ったから外出もしやすくなった。面会に来てても表情が穏やかなので安心できる。

Aさんへの次への取り組み

「お風呂に気持ち良く入浴したい」

理由

入浴を午後に行くと機嫌が悪くなり入浴できない事が多い。

具体的な取り組み

入浴時間を変えてみる。職員を変えてみる



ありがとうございました